

文教厚生常任委員会会議録

日 時 令和3年6月17日（木曜日）15時15分～15時30分

場 所 議員控室

出席者 小寺委員長、平山副委員長、金木委員、村田委員、舟見委員、森議長
ワザハバ 磯野議員、阿部議員、工藤議員、船本議員、逢坂議員

事務局 豊島事務局長、嶋元係長

小寺委員長 15:15～15:15

時間になりましたので、定例会中の時期ではありますが文教厚生常任委員会を開きたいと思います。今日の議題については、天売複合化施設について教育委員会のほうから説明をしたいということでありましたので、それについて説明をしていただき、その後また質疑に移りたいと思います。

それでは、酒井課長よろしくお願ひいたします。

1 天売複合施設について

担当課説明

説明員 山口教育長、学校管理課 酒井課長、葛西係長
建設課 石川主任技師

酒井課長 15:15～15:20

議会定例会一日目の終了後に、大変貴重な時間を頂戴いたしまして文教厚生常任委員会を開催いただきましたことに感謝を申し上げます。本日は、天売複合施設ということで、本年度に実施を予定しておりました工事につきまして、実施設計の結果を踏まえ、一部変更し実施したいことから、ご理解を賜りたく説明申し上げる次第でございます。よろしくお願ひいたします。説明は着席して行いますので、よろしくお願ひします。

初めに、天売複合施設の事業内容につきまして、簡単に触れさせていただきます。整備内容につきましては、本年2月に開催いたしました前回委員会から変更はございません。実施設計におきまして、面積998.83平方メートル、予定事業費7億9,700万円を計画しております。資料といたしまして図面を添付しております。資料No.1、No.2につきましては、1階、2階の平面図でございます。これにつきましても、前回の委員会から変更はありませんので、説明は省略をさせていただきます。また、No.3で立面図、No.4で

完成パースを添付しておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

続きまして、今年度に予定しておりました工事の変更内容について、ご説明申し上げます。資料No.5を御覧ください。

まず一つが、排水切替工事の施工時期の変更でございます。複合施設の建設予定地には、背後地からの雨水等を処理する排水管が整備されており、これを図面のほうで黒く示しております。この管を建物に、建物の邪魔にならないよう今年度当初は、図に②と黄色で示しているルートに切り替える予定でございましたが、事業費の縮減を図ることを目的に、既設排水管の一部を使用するという事で、水色で示しておりますルートに変更したいと考えております。ただ、変更後の水色のルートとする場合、丸で囲んでおりますように、複合施設と小中学校体育館の連絡通路の下に排水管を通すこととなりますことから、建物本体工事の同時施工が必要と考えておりますため、今年度行う予定でありました、この排水管の切替工事を本体工事を予定しております令和4から5年度に事業を変更することにつきまして、ご理解賜りたく存じます。

もう一つが、住宅の移設についてでございます。資料にはございませんが、複合施設の建設予定地に教員住宅が一棟残っており、当初は空き家ということで、この住宅を近隣に移設する予定でございました。しかし、実施設計におきまして、事業費を精査した結果、3,000万近い費用が必要ということになりましたことから、この移設工事を中止をしたいというものでございます。なお、この住宅につきましては、このままにしておくわけにはいきませんので、移設から解体にと方針を切り替えまして、この解体費として約970万円を予定をしておりますが、予算につきましては、複合施設の整備に係る関連工事といたしまして、今年度当初予算で措置をしております工事請負費から執行することに、ご理解を賜りたいというふうに考えております。なお、解体する住宅に代わります住宅の確保であります。現在、天売地区において公営住宅に空きがあるということでもありますことから、本住宅の有効活用につきまして、町民課のほうと調整をしているところでございます。その中で対応していきたいというふうに考えております。

以上が、内容説明となります。ご理解のほど、よろしく願い申し上げます。

— 主な協議内容等（質疑） — 15:20～15:30

小寺委員長 説明ありがとうございました。それでは、資料を含めた中で質疑を行いたいと思います。質疑のある委員は挙手にてお願いいたします。

村田委員 今説明のあった最後の教職員の移設から解体に移行するという部分での質問をさせていただきます。当初、移設するのに3,000万ということでしたが、それを解体にして今は公住が空いているので、それを上手に利

用するということなのですが、将来的にはどこかで教員住宅を建てるのか、それともそのまま教員住宅は造棟しないでそのままいくのか、そこら辺は、はっきり方針決まっているのですか。

酒井課長 天売地区の教職員住宅につきましては、今年度予算におきまして、大規模改修ということで一部古い住宅を新しく、手直しをしてですね、恒久的に住めるような予算を措置していただいております。あと、これからの児童生徒の数を踏まえますと、新しく建てる必要はないものと認識をしております。現在、解体をした後につきましては、新しい住宅は建てる予定はないと考えております。

村田委員 ということになりますと、解体費用が970万ということなので、その分は逆に言うと総体的にいくと、複合施設としては減額になるということの認識でいいですか。

酒井課長 はい、そのとおりです。

小寺委員長 ほかにございませんか。

森議長 細かいことで申し訳ないですが、それに関連して、もともとここに書いてある想定事業費全体に入っているという意味の説明だったと思うのですけれども、そのことも3,000万含めてで、よろしいですか。

酒井課長 説明不足で申し訳ありません。今年度予算につきましては、この複合施設に関連する工事といたしまして、2,860万予算措置をしております。そのうちですね、当初予算では、この住宅の移設に1,540万、排水工事に1,320万という工事費を予定していたのですが、実施設計の中でちょっと移設が想定以上に費用がかかるということが出てきまして、それが3,000万という数字になってきたものですから、ちょっと構想予定よりも大幅に事業費を超えるということで、方向転換してということになります。

森議長 それからすると、今の村田委員とのやり取りで、2,000万浮くのだとい

う印象を受けるふうだったので、正確に言うと 1,540 万予算をみたのが 970 万で済むということで、600 万くらいですが、というのが正しい理解。すみません、細かいチェックで申し訳ありません、終わります。

小寺委員長 ほかにございませんか。

金木委員 最初の説明ちょっと聞き逃したのかもしれないですけども、解体する棟、一棟だったか二棟だったか、あと、離島だからこのくらいかかるのかなという感じもあるのですが、その辺の比較、例えば町なかだったら、町なかに比べると何割増しにかかるのだとか、その辺の比較みたいなどころはなさっていますか。

酒井課長 一応、今回ですね、この予算の中で解体する住宅は一棟になります。

石川主任技師 ちょっと今日資料持ち合わせていないんですけども、3割、4割ぐらいプラスというふうになってくるかなと思います。ちょっと頭の中の記憶で話していますので、正確ではありませんけれども。

金木委員 ちなみに築何年ですか、解体するのって。

酒井課長 今年で 22 年を迎える住宅になります。

小寺委員長 ほかにございませんか。
それでは私から、図面にはないと思うんですけど、今建っている場所というのは、どの辺になるのでしょうか。

酒井課長 場所的に申し上げますと、既存の黒いこの辺になります。黒い線の下辺り。この辺になります。

小寺委員長 私から続いて意見なのですが、当初、曳家と言うのですかね、曳家をすることで、その住宅がまだ使えるので使用したいという説明が、委員会の中でずっとあったと思います。今回、町営住宅を使うということなのですけれども、よく島ではね住宅不足ということもずっと考えられてい

たのですけれども、今は空いていますけれどもね、本来住む町民が、住める状態がもしそこが一つ減るとい形になってしまう影響、今後の影響というのは大丈夫なのでしょうかね。

酒井課長 町民課とかと調整している中で、今、公営住宅4戸空きがありますので、その住宅につきましては、なかなか募集をしても利用者がいないという現状にあるものですから、そこを踏まえて簡単に有効活用したいというふうに動いているところでございます。

小寺委員長 あと明日ですね、辺地に係る公的施設の総合整備計画というのが、議案第43号で出されるのですけれども、その影響があるのでしょうか。この工事の変更によってね、その整備計画のあれというのは、全く関係ないのでしょうか。

酒井課長 それにつきましては、やっぱり関連事業ということで辺地債の活用予定であります。この措置、来年度また実際の、実績に基づきまして変更していく予定になると思いますので、今年度契約がどうこうということではなくて、来年度また事業費も当然、全体事業費も一部変わっていくと思いますので、全体費用をまた変更するとなる分、来年度の変更になると認識しています。

小寺委員長 あともう一つ、今回、当初予算とかなり差があったということだったのですが、本体工事においても当初予算していたもの、例えば3割ね、上がるという可能性もなくもないのかなというふうには思うのですけれども、その辺ちょっと心配があるのですけれども、その辺は大丈夫なのでしょうかね。

石川主任技師 はい、この中で収まるというふうに考えていまして、ただ、島ということもあって、まだ下げられる要素あるのではあないかということは、まだこれからの作業を行っているところです。

小寺委員長 下げられればよいとは思いますが、今回逆に上がったということだったので、その辺今後ね、本体工事に行くまでにいろいろ頑張っ

ていただきたいなというふうに思うのですが、ほかに質疑ある方
ごいませんか。

(なし。の声あり)

はい、それではこれで委員会のほう終わりたいと思います。今日はあり
がとうございました。